



ロビンク
日 本 人
知 寄 所
九月十四日
行

○南太平洋運糧台

日本兵又も上陸強化
ソロモン群島を期す
米國海軍情報NNS 經由發表

南太平洋戦果左の如し
一日本軍はワタカナル及びビツラ米
國基地奪還の目的にて戦果を接
戦最中である

二日本軍は連日右基地を襲
つて居る。九月九日廿六機が
機が七機機機機機機機機機機
九度射撃す。十日同機四機を
落とす。十一日同機ワタカナル基地
に襲来七隻を撃墜した。

三日本軍は昨夜襲来し米ワタカ
基地を砲撃した。

四米國空軍はギゾー島の基地を爆
撃し小型艇を撃沈した。
五要塞兵と空軍とを以てワタカ

島日本上陸隊を捜索攻撃中
あるが夜襲に集めて又も上陸した日
本軍並に供給充実強化した。

○團墓大會

来る十八日(金)の西日第十二中隊
の社交室で團墓大會が催されるこ
とにまつた。七面手合世の決勝戦を
ふる出場者は会費十五仙(三)を
當日係員に納め登録すると
なつてゐる。日品環山(高)は第三大
隊の新番付が第十二中隊社交室
内に發表された。右の番付は腕
端等多あり間違ひの点は中遠慮
なく御出でなさいと

○話の種

父の無い家庭は米國の家庭に五
割以上の子供が父を持たない。父が
家庭を見棄てた為だ。父の無い
家庭が将来子供にどんな影響を
與へるか寒心に堪へない。と
ゴズモホリタニ誌でマリアン、オム
ンが書いてゐる。他山の石であるが考
として讀者の関心を催す。

○川柳 砂塵社報

○やあ来たか握る手と手に目し
○お、来たか後は涙の柵の中
柳平

○能給服

老人も配給服を志す
人相が戸建の能給服
柳平

○演藝會

秋の夜を口三味線を踊技が人
次の題下駐一ノ切九月十六日
第十二中隊第ニ寮演藝會

○聖書研究會

毎週水曜日午後二時中野市川
聖書研究會の指導者として第ニ大隊第
五中隊の社交室に於て聖書研究
會が開かれる

○所感

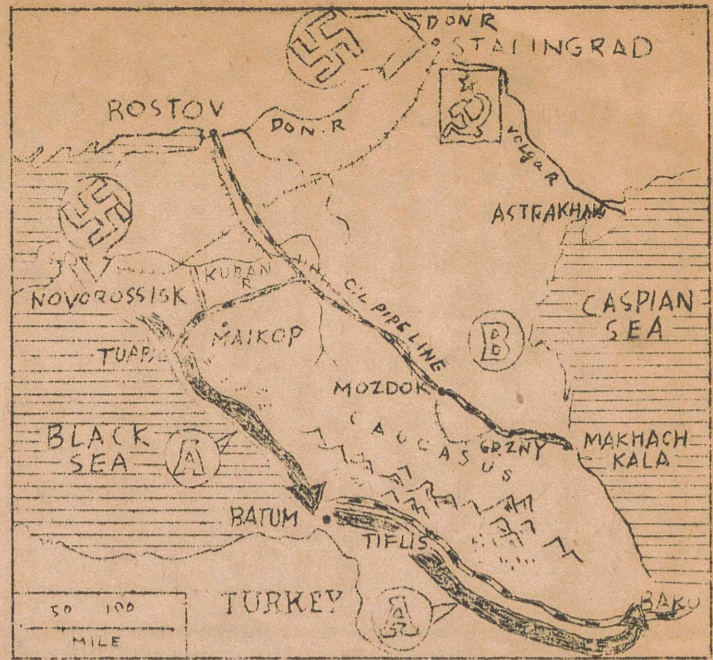
いたおらに思ひます月日は多けれど
道は求むる人共なく
是は余松道詠歌の一つである。松友
詠歌と共に私達は毎日無窮の人生
道を探してゐる。生活の問題を解れ家

旅との連絡は纔かに廿四行の制
限をつけられたら躬屈な交通
により互の無事を喜ぶ。遠るに
過ぎない

貴重なタイムは遠慮なく経つ
て行く。徒に過すは惜しいけれ
ども月日は人生の逆旅。芝蔴は
白伐の過客たるに昔かホ、エ、ビー
アイに一す来いと連れられて来て
獄窓に移民島にテレンシヨキ。正
更に砂塵の旋風に見舞はる。聲
斯馬馬のイスターメント。愛護後
送されまゝも半歳を越へたり。

過ぎ行く歳月は追へない。生活苦が
ら超越した儂等には道を求むる
人の斷き感はない。のぶろりか
無為にして遠る者は殺盗人と誰か
言つた。食ふ為に生かざるが生かざるは
食ふが一般他生人類の福田。爲に戦
争となり抵げ水の身となつた。私達は
常に現在の境遇に満足し油断なき
人間の修養を怠つてはならない

行く先に我が家ありけりかたつた
圓光返照の心持ち小徳知也知也
却る心掛へと言はれはなりません



● 陥落近きスターリン市及び高加索方面今日の戦線
 (A) は油管の破壊を企てる南進する目標
 (B) はノモニエ工場の軍長官の前進
 モズドク地区

○ 露獨接戦現況
 右解圍の如く獨逸軍はスターリン市に駐し第二軍を高架索モズドクに進駐し第三軍を同東岸黒海に沿つて南進中であるがその第一軍は専らスターリン市に包圍し集結した。獨逸軍は白刃戦車五千台飛行機一千隻を使用

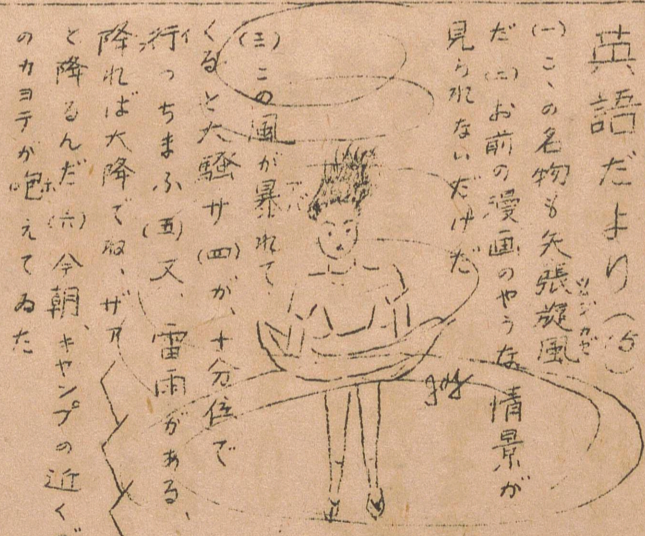
する世界記録を残す超大戦戦であり其陥落日夕に迫るとモスコウに兵は報じた

○ 布哇耕地だより

ホールの市を中心として各地耕地現下の状態は次前と異なり各各自営業も續け居り砂糖会社鳳梨会社共に労力不足にて其補充に狂奔し小中学校に代表者を派遣し十二歳以上の男女学生を夏期休暇中自己の會社に雇用せんと競争を強じ本年度は例年に比較して非常な収益ある爲め物價は總て三割以上の高騰を有しとあるに拖ら何等の苦痛をも感しない有様です。向論空地も利用したホムムガデーレを携る家庭も野菜類豊富にと購入の必要はありません。又砂糖会社は先年の植付期間を利用し間作として赤ポテトを植付体自給自足の方針に見受けられ来目下九月初旬より開始される新学期的用意に多忙を極めおます。

○ 病院だより
 退院 矢野作平 (山梨)
 入院 水足安行 (熊本) 田原斐雄 (広島)

(1) This locality is also noted for its whirlwind. (2) Just the same except we haven't such a scene as shown in one of your cartoons. (3) When it comes raging, it causes an excitement among us. (4) The wind goes away in about ten minutes, tho. (5) And we have the thunder-storm here. When it rains it pours. It rains cats and dogs. (6) This morning I heard the howling of some coyotes near the camp.



Caught in one of our undesirable whirlwinds

○ 大鈴蛇退治
 昨日昨日病院の白人ドクターがハイウイに捕へたと言ふ大鈴蛇は長さ五十九寸胴の廻り六寸、十四の鈴が付いておると言ふ物であつたが昨日夕方第三大隊へ持来り見物人山の如くであつた
 英語だより (5)
 (一) この名物も矢張旋風
 (二) お前の漫画のやうな情景が見られる
 (三) この風が暴れて
 (四) 十分位で
 (五) 雷雨が降る
 (六) 今朝、キャンプの近くで数足のカヨタが吠えてゐた

才三大隊の人名録

第十中隊 第三察

- 千葉縣 天野正十九
- 靜岡縣 向望啓太郎 村井恒太郎
- 木村唯一
- 大阪府 土井祐太郎 相良嘉吉
- 佐賀縣 古賀猛
- 三重縣 北川光藏
- 鳥取縣 伊達 昇 井上豊治
- 鹿児島縣 小野國次
- 奈良縣 福田美亮 橋本止治
- 上西喜一郎
- 熊本縣 坂田重喜
- 神奈川縣 岩本清太郎 諸水岩太郎
- 石川縣 島田千吉 橋本光藏
- 長野縣 中島龍雄 吉理誠藏
- 廣島縣 山本栄一 青木 茂
- 愛知縣 河津清三郎
- 長崎縣 松本清一郎
- 福井縣 山口 正
- 和歌山縣 藤井七太郎 堀地兵一
- 山梨縣 近藤史郎
- 岡山縣 河原 豊
- 巖手縣 及川英夫
- 以上
 廿一名